



SISTER CITIES NEWS

姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

Vol.84 2025.12.19

茨木市国际亲善城市协会



上：姉妹都市提携 45 周年記念ミネアポリス訪問ツアー 2025 下：市民訪問団歓送パーティでの集合写真

CONTENTS 一目 次

● 姉妹都市提携45周年記念ミネアポリス訪問ツアー2025を実施しました!	2
● 姉妹都市提携45周年記念ミネアポリス市民訪問団が来茨されました!	3
● 一般社団法人茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業報告	5
● 国際交流の集いの実施報告と次回開催案内	5
● 英語俳句コンテストの報告	5
● (一社)茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業	6
● 通訳ボランティア制度・各活動団体を紹介します!	7
● 茨木市国際親善都市協会のホームページをご覧ください!、MINNIBARAKIに記事を投稿してみませんか?	8

姉妹都市提携 45 周年記念ミネアポリス訪問ツアー 2025

令和7年7月19日(土)～25日(金)にかけて姉妹都市提携45周年記念ミネアポリス訪問ツアーを実施し、5名からなる訪問団を派遣しました。

コロナ禍で海外渡航が途絶えていたこともあり、本市からは7年ぶりの訪問となりました。現地ではミネアポリス市・茨木市姉妹都市協会(MISCA)の方々があたたかく迎え入れてくださいました。

MISCAメンバーの皆様との市内観光やお宅訪問、ワークショップ等、様々な形で交流活動ができました。

旧交を深めた団員もあり、長年の姉妹都市の絆を再認識する訪問となりました。そして、より一層絆を深めていきたいとの思いを新たにしました。

行程とその様子をご紹介します。



MISCA による歓迎会

姉妹都市デイ茨木市ブース・45周年記念ケーキ

19日(土)

伊丹空港 発 羽田空港(乗継)
ミネアポリス国際空港 着
MISCAメンバーによるお出迎え
MISCAメンバーによる歓迎会
宿泊先:Embassy Suites by Hilton
Minneapolis Downtown

20日(日)

ダウンタウン観光
姉妹都市デイ参加
※MISCAと茨木市ブース出展、ミネアポリス市の各姉妹都市との交流
MISCAメンバーとの夕食会

21日(月)

ミネアポリス市長表敬訪問
観光(ミシシッピ川、ミネアポリス彫刻庭園、セント・ポール大聖堂、州議会議事堂など)

22日(火)

ロングフェロー・ガーデンズ
ミネハハの滝で歴史散策
小さな本作りのワークショップ ※MISCAのメアリーさん宅
ミュージカル鑑賞

23日(水)

モール・オブ・アメリカ
ミネアポリス美術館
レセプションパーティ
※ミネアポリス市の姉妹都市ケニア・エルドレッド
市訪問団との交流
ミネアポリス アクアテニアルトーチライトパ
レード(雨天中止)

24日(木)

ミネアポリス国際空港 発

25日(金)

羽田空港(乗継)伊丹空港 着



ミネアポリス市長表敬訪問



ミネハハの滝散策と本づくりワークショップ

また姉妹都市デイや市長表敬訪問等、姉妹都市の間柄であるからこそできる経験ができました。姉妹都市デイでは、大阪・関西万博の公式法被を着用し、万博グッズを配布する等、大阪・茨木を訪れていただけるようにPRしました。

また、レセプションパーティではミネアポリス市の他の姉妹都市の皆様ともお話しする機会があり、国際交流の輪が広がり大変有意義なものとなりました。楽しみにしていたアクアテニアルトーチパレードが雨天中止となり、パレードで姉妹都市としてアピールできず残念でしたが次回へのお楽しみにしたいと思います。

円安の影響もあり、旅費の高騰が続く中、海外渡航のハードルは高いですが、姉妹都市の絆を将来に向けてつないでいくべく、次回はぜひ多くの協会員の皆さまにご参加いただき、姉妹都市ミネアポリス市の魅力の感じていただきたいと思います。(当協会事務局)



訪問最終日 MISCA の皆さんと



レセプションパーティ



ケニア・エルドレッド市との交流

姉妹都市提携 45 周年記念ミネアポリス市民訪問団来茨

令和7年9月21日(日)から26日(金)にかけて、「姉妹都市提携45周年記念ミネアポリス市民訪問団」として、5名の方が来茨されました。

昨年は姉妹都市活動室(IIN)の創立40年を機に来茨されましたが、今年は姉妹都市提携記念として来茨していただきました。

実用日本語学習会、姉妹都市活動室(IIN)の皆様のご協力のもと、ミネアポリスの方々には、日本ならではの様々な体験をしていただきました。また、大阪・関西万博ツアーも行い、今年ならではの交流をさせていただきました。各日程での様子をご紹介します。

9/21(日) Welcome party !

ミネアポリス市民訪問団の皆様の中から、「会席料理が食べてみたい」というご希望があり、蟹料理専門店にて歓迎会を行いました。

久々の再会を果たせた方もおられ、料理を堪能しながら交流を楽しんでいただきました。参加者からミネアポリスの方々に、着物をプレゼントされるなど大変喜ばれ、着用しながら時間を過ごされるなど明るい雰囲気でミネアポリス市民訪問団の皆様を歓迎いたしました。



着物姿が素敵です！

9/22(月) みんなで作ろう和食（姉妹都市活動室・実用日本語学習会）

日本語講座を行い、日本語での買い物の仕方を学習後、商店街にて実際に買い物体験をしていただきました。また、商店街で実際に購入したものを使用し、おにぎり、味噌汁、卵焼きなどを作りました。実際に作り方を覚えたことからミネアポリスに戻っても日本食が作れると大変喜ばれており、訪問団の皆様にとって思い出深い体験をしていただきました。



和食づくり体験



おにぎりを握りました！



出汁が効いて美味しいかったです！

9/23 (火・祝) <Free Day>

終日自由行動とし、ミネアポリスの方々は、茨木周辺を散策されたり、日本にいる知り合いの方と食事に行かれると等、思い思いの時間を過ごされました。

9/24 (水) 大阪・関西万博ツアー

今年ならではのビッグイベント、大阪・関西万博に行きました。午前中はTECHWORLDパビリオン、午後はPASONAパビリオン、シンガポールパビリオンを見学しました。万博に向かう道中で、ミネアポリスの方々へプレゼントした大阪・関西万博公式スタンプパスポートも使いながらそれぞれのパビリオンを堪能されました。天候にも恵まれ、大屋根リングからの眺望を楽しむ等、55年ぶりに大阪で開催された万博で1日を過ごしていただきました。



大屋根リング上で

9/25 (木) 表敬訪問・茨木北部ツアー・日本家屋見学＆夕食会

午前中、ミネアポリス市民訪問団の皆様に市長・議長への表敬訪問をしていただきました。その後、貸切バスで茨木北部ツアーを行いました。キリストン遺物史料館を訪問し、見山の郷ではお買い物を楽しんでいただきました。また、高雲寺の見学では、今回のツアーにご協力いただいた茨木市観光協会の茨木童子組の方による高雲寺の説明を、興味深く聞いておられました。ツアーの最後は、安威川ダム周辺を散策しました。残念ながら現地まで足を運ぶことは叶いませんでしたが、今年オープンしました、ダムパークいばきたにある吊り橋も見ていただきました。

夕方からは本協会の辻副会長のお宅で日本家屋見学とすき焼きパーティをしていただきました。日本文化と海外に大人気の和牛を堪能していただき、交流を深めていただきました。



市長・議長表敬訪問



見山の郷でお買い物



日本家屋見学・すき焼きパーティ

9/26 (金) 丹波篠山観光・歓送パーティ

ミネアポリス市民訪問団との交流最終日です。

日中は姉妹活動室 (IIN)の皆様による、丹波篠山ツアーを行いました。丹波篠山では陶芸を体験していただき、オリジナルの陶器を作っていました。

夜は、茨木セントラルホテルにて市長・議長・副議長・副市長にも参加いただき、姉妹都市提携45周年記念ミネアポリス市民訪問団歓送パーティを開催いたしました。市広報誌でも参加を募り、総勢56名の方に参加いただきました。

歓送パーティでは当協会で開催している英語教室、We are friends!の授業でこどもたちが作成したメッセージカードの贈呈や、オペラ歌手によるミニコンサートを行い、茨木市での滞在を最後まで楽しんでいただきました。市民の方にもミネアポリスの皆様と交流していただけた、貴重な機会となったのではないかと思います。 (当協会事務局)



丹波篠山観光



歓送パーティでの市長挨拶



ミニコンサート

第31回国際交流の集いを実施しました

令和7年2月2日(日)、第31回国際交流の集いを開催しました。おにくるでの開催は2回目でしたが、会場レイアウトを変えることで、より多くの方に参加していただきました。前回に比べ、外国人の方にもたくさん参加いただき、大盛況のうちに終えることができました。



第32回国際交流の集いを開催します

今年度も、第32回国際交流の集いの開催が決まりました！ 今回も日本文化・外国文化を体験できるステージやブースが盛りだくさんです。情報は随時、協会のホームページで更新予定ですので、ぜひチェックしてみてくださいね！

日時 令和8年1月25日(日) 11:00～15:30

場所 茨木市文化・子育て複合施設おにくる きたしんホールほか

内容 オープニングダンス、日本語スピーチコンテスト、外国文化紹介、高校生や団体による体験ブース、着物着付け体験、もちつき体験、多国籍料理キッチンカー出店、被災地支援のための物産販売など



最新情報こちらから

英語俳句コンテストを実施しました

毎年、ミネアポリス市から作品を募集している英語俳句コンテストに今回も多くの応募がありました♪今回の課題は「HARMONY(和)」です。各部門の1位に選ばれた作品を紹介します！

◆総評 茨木市の親善都市であるアメリカのミネアポリスと茨木市の英語ハイク交流は1992年から始まり、今年で33年になります。今回、ミネアポリスから総数104句の作品が寄せられました。

アメリカハイクの特徴でもある三行短詩の一行目は5音節、二行目は7音節、三行目には5音節という音の長さを使って、ミネアポリスの幼稚園から一般成人の作者が、HARMONYをいかに作品化しているかを探ることは楽しく勉強になります。

吉村 郁久代*

幼稚園・小学生の部 1位 Will Wrennさん

(原 文) Morning birds singing
Always sitting in the trees
A free alarm clock

(日本語訳) 朝鳥のさえずり
いつも木に座っている
無料の目覚まし時計

講評

朝になると木に止まって、さえずる小鳥の様子を作者は観察しています。そしてその様をA free alarm (無料の目覚まし時計) と言い切れます。想像力と感性の極みですね。

中学生の部 1位 Jackson O'Mahoneyさん

(原 文) The beautiful sounds
High and low and in between
All come together

(日本語訳) 美しい音色
高低音もその中間も
すべてがひとつになる

講評

音の響きの美しさを見事に描写しています。二行目のHigh and low and in betweenで音色の美しさを導入し、三行目のAll come togetherでまとめています。それらを強調するように音節に工夫が見られます。

高校生の部 1位 Jasper Nelsenさん

(原 文) Like musical notes,
The world has many layers
A stunning canvas

(日本語訳) 音符のように
世界には多くの階層がある
それは素晴らしいキャンバス

講評

作者は様々な階層の人々の姿をキャンバスに塗り、キャンバスに描かれる色の重なりという二重構造の意味を表現しています。多文化の多様な人間がキャンバスに何層も塗り込まれて、音符のように素晴らしい音を醸し出しているとも解釈できます。

成人の部 1位 Natalie Petersonさん

(原 文) The first winter's snow
Gently lands on my eyelash
A kiss from above

(日本語訳) 初めての冬の雪
まつげに優しく降り注ぐ
空からのキス

講評

初雪の表現を(A kiss from above空からのキス)と捉え、(Gently lands on my eyelashまつげに優しく降り注ぐ)と状況を語ります。短く、的確に、そして情感をこめて詠んでいます。素敵な作品です。

※吉村 郁久代：文学博士。元朝日大学教授・元岐阜保健大学教授。英語俳句の会Evergreen,Silver Gifu,Ibuki,Cosmos主宰。

本協会の英語俳句コンテストの作品審査(翻訳・講評)を担当。専門：R·H·Blyth研究 海外における俳句の定着と変容

※総評及び講評は一部抜粋

(一社)茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業



当協会では、茨木市国際親善都市協会主催・共催事業や海外や国内外姉妹都市等でのスポーツ・文化交流に参加する市内の青少年（満24歳以下）または青少年団などに助成しています。

2024年度に本助成制度を利用された団体の参加者報告を一部ご紹介します。

*参加者の報告は、各団体の参加者の感想より抜粋して掲載しております。

大阪府立春日丘高等学校（ミネアポリス派遣プログラム）

春日丘高校はミネアポリス市のサウスウエスト高校と姉妹校提携をしており、毎年両校の生徒たちがお互いの学校を訪問・交流しています。2025年2月28日～3月8日のミネアポリス派遣プログラムに参加した生徒からの報告です。

アメリカは日本よりも細かいことを気にしない雰囲気があり、何事も気にし過ぎてしまう性格の私にとっては、新しい世界で考えの幅が広がりました。アメリカは自由だというイメージがあると思いますが、ルールを破っていない、という自由ではなく、秩序のあるうえで自己表現の自由があるのだと感じました。現地には自分に非常に合った考え方の人が多くいて、居心地がよかったです。もっと英語でコミュニケーションをとりたいと思う気持ちが強くなり、学習のモチベーションアップにもつながりました。また機会があればミネアポリスに行ってみたいです。
(3年 吉田くらら)

行く前はアメリカの空気に圧倒されてしんどい思いをするかもしれない不安でした。ですがミネソタの人たちはみんなフレンドリーで暖かく迎え入れてくれて、英語が下手でも最後まで話を聞いてくれました。犬の散歩をしているだけでもそれ違った人はみんな挨拶をしてくれたし、学校でも色んな人が話しかけてくれて心が温まりました。言語が違っても沢山の楽しい時間を過ごすことができ、言語の壁を乗り越えて人と仲良くなることは意外と簡単だと気づくことができました。文化の大きな違いを感じる場面が多々ありましたがその全てが学びにつながり、毎日がとても有意義な時間でした。日本語が通じない状況に疲れることもありましたが、それ以上に話が通じた時の嬉しさはすごく大きかったです。改めてコミュニケーションの大切さを実感しました。
(3年 高山乃乃華)



JAPAN BOX（日本文化紹介）での舞台発表後、現地校の生徒と一緒に記念撮影。スーパーマリオが大人気でした。



現地校で折り紙を体験していただきました。手裏剣や鶴を作って楽しかったです。

大阪府立茨木高等学校（Beyond_i in Singapore）

3月某日、29人の茨高生を乗せた飛行機がシンガポールへ旅立ちました。7日間の海外研修を経て、私たちはどう成長できるのか。そんな期待のような不安のような心持ちで、私たちは日本を発ちました。

7日間という時間は、人が成長するのに可能な時間ではあります、必ずしも十分だとは言えません。しかし、何か自分の知らないことを知ったり気づいたりするには、あまりに大きな機会です。

私たちは、大きく分けてリーダーについてと、STEAMについての講義を受け、ディスカッションを経て、プレゼンテーションを行いました。例えはリーダーについて、という講義ですが、これはありがちな話のようで、どうも普段は意識出来ないテーマです。たまに、誰かに「シンガポールに行ってリーダーについての講義を受けた」などと言うと、「その団体に参加できる時点でリーダーの人柄だね」と返ってきたりするのですが、そもそも私たちが受けたリーダーについての講義とは、「リーダーとは誰か」ではなく、「リーダーとは何か」というものです。言い換えると、リーダーになれるような人はどんな人か、ではなく、誰もが誰かのリーダーであり、それらはどういった役割を果たしているのか、という講義なのです。多くの人にとってこれは気づきであり、発見でしょう。これまでではクラスの学級委員の背についていく私がフォローワーシップを大いに発動するリーダーの一人であると自負できるようになったのは、細やかな成長なのもかもしれませんと思います。

この研修では、学びのうちでも特に人間性へと繋がる部分が実は大きな割合を占めました。一日でポスターとプレゼンテーションを完成させなければならぬようなハードなスケジュールの中で何度も仲間とぶつかりあいました。その度解決に向けて一歩踏み出したり、むしろ敢えて引いたりするのは、自らの人間性を再確認する良い機会となりました。この世にただ一人の自分という人間を、他者との関わり合いの中で真の意味で唯一無二たらしめる何事かを追求する意識が、私たちの中に芽生え始めました。

また、海外へ学びに行くとなると、どうしても思い浮かぶのが英語です。英語を喋らなければ意思伝達のできない社会に身を投げだし、それにより語学力を高める活動。私たちは、これをしたといえばしたし、してないといえばしていないのかもしれません。というのも、私たちは勿論出来る限り英語でのコミュニケーションを心掛け、語学力を高められるだけ高めてやろうという精神でいたのですが、おそらくほとんどのBeyond_iの生徒たちが目にしたのは成長ではなく現実です。英語で物事を伝えることの難しさ、聞き取ることの難しさ、書く、話す、読む、聞く、この全てを同時にに行わなければならないというハードルの高さです。当時はこれを苦痛だと思った時もありました。しかし、現地で掛けた経験ですら私たちが成長する貴重な資源であり、私たちが英語を磨き直すための教訓であり、そしてその意識こそが成長につながるのだと、今ならそう思えます。なにより、拙い英語であっても、相手に伝わったあの時の興奮は、私たちが更に飛躍するための大きなモチベーションとなるでしょう。（注釈）

シンガポール研修で得た経験は比するものがない貴重な財産であり、確実に私たちの将来になければならない体験となりました。もしかしたら、既にこの研修の意義の何たるかを咀嚼して飲み込めた人もいるかもしれません。未だ自分の何が成長したのか悩んでいる人の方が多いでしょう。少なくとも私はその一人です。7日間の海外研修を経て、私たちはどう成長できたのか。答えは「分からぬ」です。いつ、どうやって、どう成長するか、全くもって分かりません。けれども、Beyond_iが、そして仲間たちが私たちにもたらした奇跡に近い経験は、必ず私たちに相応しい成長をもたらすことだろうと信じています。

最後になりましたが、多大な支援と応援をいただきました茨木市国際都市親善協会様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

注釈:シンガポールは多民族国家なので必ずしも英語に限った話ではありません。
(3年 木津川瑠樹)



活動団体を紹介します！

我們是朋友！中国語で遊ぼう！

「我們是朋友！」はお子さん向けの中国語教室です。ゲームや歌を通して、楽しく中国語に親しんでいただけます。保護者の方の参加も大歓迎ですので、ぜひ、お子さん・お孫さんと一緒に中国語を楽しんでみませんか？

日 程 ▶ 年8回程度
土曜日

対 象 ▶ 小学1年生～中学3年生、その保護者
(こどもだけの参加可能です)

参 加 費 ▶ こども200円、保護者300円
(協会会員は無料)

申込方法 ▶ 偶数月初めから本協会事務局まで
電話または偶数月の市広報誌に掲載して
いる二次元コードで申込み



Ibaraki Intercultural Network(IIN)

姉妹都市活動室(IIN)

姉妹都市活動室では、各国からゲストを招き英語でのスピーチを聞く例会を行い、国際交流を深めるための英語力を養っています♪また、茨木市の各名所の歴史を紐解き、その所以や由来などを英語で伝えられるよう、たくさん調べて積極的に活動しています！ぜひ一緒に活動してみませんか？

Zoomを活用してミネアポリス市とオンラインで繋ぎ、定期的にミーティングを行い、日本文化を伝えたり、茨木市の見どころを紹介したり、姉妹都市交流も楽しみながら継続中☆

例会日程 ▶ (8月を除き毎月実施)
第1木曜日: 9時30分～11時30分
第3土曜日: 14時～16時

場 所 ▶ 茨木市立男女共生センター等

年 会 費 ▶ 3,000円(入会の際には、本協会の会員になる必要があります)

ホームページ <http://www.ibaraki-city-iin.com/>

学生、留学生、地域在住の外国人の皆さんも、どうぞお気軽にご参加ください(*^▽^*)

WE ARE FRIENDS!

「WE ARE FRIENDS!」では、ゲームなどを通して英語に親しむことができます♪ハロウィンパーティーやクリスマスクラフトなど、楽しいイベントが盛りだくさんです(*^▽^*)外国の文化も知ることができますし、新しいお友達もたくさんできちゃいます☆英語って苦手だなあ…というお子さんも、日本人スタッフが優しくサポートしますので、お気軽に遊びに来てくださいね！

講 師 ▶ ひさのり 久徳ウェンディ先生

日 程 ▶ 原則 2,3,4,5,7,9,10,12月の第3日曜日

対 象 ▶ 小学3年生～中学3年生

参 加 費 ▶ 300円(協会会員は無料)

申込方法 ▶ 偶数月初めから本協会事務局まで
電話または偶数月の市広報誌に掲載して
いる二次元コードで申込み



みんなでハロウィンの衣装を作りました♪
留学生スタッフの3人も参加してくれました！

実用日本語学習会

日本語を母語としない方を対象に、基本的にマンツーマンで日本語学習の支援を行っております。マンツーマンだからこそ、いつでも、だれでも、自分のレベルに合わせて学習を始めることができます♪

オンライン学習と対面学習での学習会を実施しています!(^▽^)!

日本語を勉強したい外国人の方、日本語学習の支援を求めている外国人をご存知の方、ぜひお気軽にお問い合わせくださいね。お待ちしています！

と き ▶ 木曜クラス: 13時30分～15時
金曜クラス: 10時～11時30分
※オンライン学習の授業時間は60分

と こ ろ ▶ 文化・子育て複合施設おにくる等
(対面学習の場合)

ひ ょ う ▶ 学習者2,000円(1期1クラス分)
※テキストは実費です。

ホームページ <http://www.ibaraki-nihongo.sakura.ne.jp/>

※内容に変更がある可能性があります。詳しくはお問い合わせください。

●通訳ボランティア制度・各活動団体について、れんらくするところ

茨木市国際親善都市協会事務局 TEL 072-620-1810 FAX 072-622-7202 mail:cadifai@city.ibaraki.lg.jp

通訳ボランティアにご協力ください！

あなたの外国語の語学力を生かして、茨木市の地域国際化にご協力ください！

日本語が不慣れなため、行政手続き等で困っておられる外国人の方々のため、本協会には「通訳ボランティア登録制度」があります(^^)!ご登録いただいた後は、ご都合に合わせて無理なく活動していただけます♪

英語以外にも、ベトナム語、ウクライナ語、ロシア語など、様々な言語で登録受付中です！
少しでも関心をお持ちの方は、ぜひ本協会までお問い合わせください☆

通訳内容	行政手続きや行政に関する相談の通訳や、チラシ等の翻訳(日本語から外国語への訳)
対象	日本語・外国語の読み書き・日常会話ができ、手続き等の通訳やチラシの翻訳ができる方
登録方法	登録申請書にご記入いただき、窓口・メール・FAXで、茨木市国際親善都市協会事務局までご提出ください

ご登録いただくと、必ず依頼を引き受けなければならぬわけではありません。まずご都合をお伺いし、活動に関する日時や期間など相談にも応じます♪

茨木市国際親善都市協会のホームページ・インスタグラムをご覧ください!!

協会ホームページでは、「新着情報」「募集情報」など、協会のイベントの情報を発信しています。また、姉妹都市活動室や実用日本語学習会のページ、多言語での情報発信をしているページの情報なども掲載しています。ぜひチェックしてみてください！

茨木市国際親善都市協会ホームページ
<https://www.ifai.jp/>



また、協会のインスタグラムを開設しました！イベント情報などを投稿していきますので、ぜひフォローをお願いします！



IFAI_IBARAKI

MINNIBARAKIに記事を投稿してみませんか？

MINNIBARAKIとはMISCA(ミネアポリス市・茨木市姉妹都市協会)の皆さんのが作成されているニュースレターのことです。現在2月、5月、8月、11月の年4回発行されています。協会会員の皆様もミネアポリス市のみなさんにメッセージを送ってみませんか？

ミネアポリス市との交流に関する事、日本文化の紹介、ご自身の国際体験など、ミネアポリス市のみなさんに読んでもらいたい内容なら何でもOK！写真と一緒に掲載することもできます♪なお、応募原稿は全て英語でお願いします☆皆様からのご応募お待ちしております♪

応募方法 申込書・応募原稿を協会事務局へメールで提出(申込書は協会HPからダウンロード、または窓口で配布)

応募締切 各号の3か月前の月末(例:11月号への応募なら8月末まで)

※発行状況によって変更になる可能性があります。

応募原稿について詳しくは本協会HPのMINNIBARAKIのページをご覧ください。▶



茨木市国際親善都市協会 会員募集!!

本協会では、茨木市の姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方の入会をお待ちしています。

会員のみなさまには、協会が催す交流行事のご案内や、協会主催事業への参加費の一部助成、また、年2回発行する協会報を送付しております。

主な活動内容 国際交流の集い

姉妹・友好都市への市民親善訪問

中・高校生の「英語スピーチ大会」など

年会費 個人会員:(一般) 2,000円 (学生) 1,000円
団体会員:一団5,000円

申込先 本協会事務局(茨木市市民文化部文化振興課内) TEL 072-620-1810
協会ホームページ : <https://www.ifai.jp/>

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号 茨木市市民文化部文化振興課内
TEL.072-620-1810 FAX.072-622-7202 ホームページアドレス <https://www.ifai.jp/>



茨木には、次がある。